

極低出生体重児の 思春期以降の予後に関する多施設共同研究

ボランティア募集

小さく生まれた赤ちゃんは、成人期に生活習慣病などの
様々な病気にかかりやすいことをご存知ですか？

本研究は、極低出生体重出身(出生体重が1,500g未満)の青年と正
期産・正常体重出身の青年との間で、身体計測値や生活習慣病と
関連した検査所見を比較するものです。
この研究を遂行するために、ご協力いただける下記のボランティア
の方を募集しています。

対象: 1993年～1996年出生の方

以下の方は対象外となります。

出生時の在胎週数が37週未満の方

出生体重が2,500g未満の方

ご協力いただける方には、問診や身体測定、血液検査(空腹時)、尿検査などを
無料で受けていただきます。さらに選択項目として追加検査を受ける事も可能です。
少額ではございますが、協力者には金券を進呈いたします。
調査の趣旨をご理解いただき、医学の発展のためご協力いただければ幸いです。
詳細は下記までお問い合わせください。

担当: 昭和大学小児科 中野有也
E-Mail: dohadshowa@gmail.com
電話: 03-3784-8565 (小児科医局)



本研究は厚生労働科学研究班の依頼を受けて実施されています。